

第 8 回高校生国際 ESD シンポジウムに 6 か国から 220 人

APP ジャパンも出展参加、高校生らと交流図る

【2019 年 11 月 12 日】 国際的な紙パルプ製造企業グループであるアジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）の日本法人エイピーピー・ジャパン株式会社（本社：東京、代表取締役会長：タン・ウイ・シアン）は 11 月 7 日、筑波大学東京キャンパスで開かれた「第 8 回高校生国際 ESD シンポジウム」に参加、出展しました。インドネシアで毎年続けている 1 万本植樹活動や、紙の製造工程のパネル、コピー用紙などの紙製品、インドネシアの農家の女性が作った布製品などを展示し、参加した高校生らにインドネシアにおける森林環境問題や生分解性の食品容器用板紙製品などについて説明したり、高校生からの質問に答えたりしました。

このシンポジウムには、国内外の高校 27 校の生徒や教員、関係団体など計約 220 人が参加。冒頭、文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付の安彦広斉氏と、インドネシア大使館教育文化担当のアリンダ・ザイン氏が挨拶。国内からは筑波大学付属坂戸高校、筑波大学附属高校、筑波大学附属駒場中・高等学校、明治学園中学高校、静岡県立三島北高校、山梨県立甲府第一高校、愛媛大学附属高校など 21 校、海外からはインドネシア環境林業省付属高校、ポゴール農科大学附属コルニタ高校（インドネシア）、フィリピン大学付属高校ロスバニョス校舎、カセサート大学付属高校（タイ）、カセサート大学附属高校カンペンセーン校舎（タイ）、クイーンランド州立エラノラ高校（オーストラリア）の 5 か国 6 校の高校生らがそれぞれ、森林、生物、農業など、ESD（持続可能な開発のための教育）及び SDGs（持続可能な開発目標）に関わる各国特有のテーマの研究成果を発表したり、分科会でディスカッションを行ったりしました。

<APP について>

アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）はインドネシアおよび中国の紙パルプ製造企業グループの総合ブランド名です。ティッシュ、包装製品および紙製品の世界的な需要は増大を続けており、APP にはそうした需要を満たす高品質の製品をお届けする責任があります。APP の紙、パルプ、包装製品、加工製品の生産能力は年間 1,900 万トンを超えており、その製品は毎日さまざまな形で世界中の消費者のお手元に届けられています。統合化されたサプライチェーンの維持と持続可能性ロードマップ 2020 の誓約は APP の事業活動にとって極めて重要です。詳しくは、当社の持続可能性報告書や森林保護方針をお読みください：<https://www.asiapulppaper.com/>

<APP ジャパンについて>

エイピーピー・ジャパン株式会社（APPJ）は、インドネシアと中国を本拠とする総合製紙企業 APP グループの日本における販売会社です。1997 年の設立以来、20 年以上にわたり日本市場のお客様のニーズにお応えするため、印刷用紙、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。2016 年 4 月にインドネシア企業としては初めて日本経済団体連合会（経団連）に入会しました。
www.app-j.com/

詳細な情報が入り用の方、また、ご意見をお寄せいただける方は、下記までご連絡ください：

エイピーピー・ジャパン株式会社

サステナビリティ・コーポレートコミュニケーション本部 山崎・加藤

Tel: 03-5795-0023 Fax: 03-5795-0065

E-mail: sustainability@appj.co.jp